

参加費
無料

第3回 やまがた水素みらいミーティング 水素ステーションを中心とした 水素関連部品製造

水素ステーション等、超高圧の水素設備で使用する部品は、安全性の観点から材料や工法について十分留意する必要があります。

本ミーティングでは、今後の水素利用の進展に向け、水素関連機器の規制の現状や規制緩和の動向、高圧水素用機器の関連部品を製造するための知識や技術について解説します。

10月16日(月) 令和5年
13:30~16:00
[13:00 受付開始]

場所:
山形県高度技術研究開発センター
(山形市松栄2-2-1)

プログラム

- 講演1 水素社会を取り巻く環境、規制、規制緩和** 13:35~
一般財団法人石油エネルギー技術センター 主任研究員 小林 拓 氏
2012年から70MPa水素ステーション建設が始まり、現時点では160か所を超えている。これまでの水素社会を取り巻く環境、規制、規制緩和の流れで例示基準化を目指した鋼材研究の経緯・成果を紹介する。
- 講演2 水素インフラを構成する機器、部品** 14:05~
一般財団法人石油エネルギー技術センター 主任研究員 鈴木 修一 氏
超高圧水素インフラの例として水素ステーションを取り上げ、水素ステーションを構成する水素蓄圧器やディスペンサー等の高圧水素機器やこれらに使用される各種部品類について、その概要や機能等を紹介する。
- 講演3 高圧水素用機器を製造するために必要な知識・技術** 15:05~
一般財団法人石油エネルギー技術センター 主任研究員 鈴木 修一 氏
水素は金属表面から内部に侵入し、材料の機械的特性を劣化させて破壊を引き起こす危険性がある。水素の影響は圧力とともに増大するため高圧水素用機器を製造する場合は特に注意が必要となる。規制面及び科学的な側面から材料選択・溶接等の加工の影響と水素との関係について基本的な解説を行う。

お申込み 【申込み締切:10月11日(水)】

やまがたe申請より参加登録をお願いします。

https://apply.e-tumo.jp/pref-yamagata-u/offer/offerList_detail?tempString=R5SuisoMeeting3



申込み用二次元コード

主催 山形県

問合せ先 産業労働部 産業技術イノベーション課
次世代産業振興室 電話 023-630-2358